

安全とは？

ソムラピー プラニーニ

総合 3 - 7 超人組み

目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論
4. 終わりに

動機

日本は 1955 年から 1970 年 にかけて経済が急成長し、また 科学技術の発達につれて 日本色々な面が進化した。日本人の生活水準が向上しただけではなく、その生活スタイルも非常に変わりました。生活スタイルが便利になり、何でもすぐ買えるコンビニがあっちこっちにあふれるほどある また、電車の線路も増える一方に達しない。言うまでもなく日本は全面進歩しているけれどもそれで本当なのでしょうか？

私は幼い頃から 毎年祖母と日本に遊びに来ました。祖母は日本人なので、毎年、東京にある実家に戻り、その時期は私の学校も夏休みなので、一緒に来ました。十何年前の事なんですが、今でもよく覚えている事があります。それはおじいさんが家から出かける時は窓も扉もあけっぱなしで出て行く事、その事は日本に始めて来た私にとっては一番びっくりした事です。タイに住んでいる私はとても考えられない事です。でも、いつもおじいさんが日本は安全な国だから、大丈夫よと言ってくれました。泥棒もいないし、ご近所の人達が見守ってくれるからだそうです。それを聞いた私は納得して、それで私の日本の イメージはとても安全で平和な国だと思いました。しかし、数日前私の近所の駐車場で窓ガラスをわって車の中にある物をとられた事件がありました。この十何年間の間日本は大分変わってきた様な感じがします。テレビを見ても新聞を読んでも 「まさかー」と思うような事件が起こり 以外に思いました。とくに未成年の事件については信じられません、あるテレビの番組のアンケート調査によると「犯罪は今のうちにしておくべきだ」と答えた未成年の人がいたそうです。なぜ？ どうして？ 私には理解できません。

安全 という事は (1) 安らかで危険のないこと。平穩無事 (2) 物事が損傷したり 危害を受けたりする恐れのないこと。 それによると安全の意味はただ 身体と物事が守られていたことが第一で、精神的に守られてい

物事が害を受けれない状態ではありません。もっと大切なのは精神的に安らぎができること。意心地さも含めてあるだと思います。「日本は世界一安全な国」で聞いた覚えがあります。それは確かに現実であったこと。しかし、現在の日本はまだ世界一安全な国とは言えるのでしょうか。私は小さい時からずっと日本のことを憧れのような気持ちを持っていました。日本に移り住みたいほど日本が好きでした。どこへ行くでも便利、それに人々は親切で思いやりもある。安全で住みやすい所だと思いました。だが日本に来る度に、日本は少しずつ変わって来たと感じます。ニュースいろいろな事件を知り、ありえないような事件も起こり、私は本当にびっくりしました。なぜ日本の犯罪率は昇り、とくに未成年に関する事件が増えたのか分かりません。上述した現状から、私は切なく、悲しい気持ちになりました。

地球は回っている。そして世界中の国々が変化して行く。その一部として日本も少しずつ変わっていく。変わることは良い事もそうではないことも一緒に受け入れなければなりません。けれども、社会は人々が作ったものなのです。その社会をどうすれば平和に暮らせるのはけして一人の問題ではない。同じ社会に住んでいる人々の責任でもある。私が思っているのは「世界一」ではなくてもいい。ただ皆が気を配って平和で安全な社会をつくるように願っています。

ディスカッション

総合の授業でいろいろな人と「安全」について討議をしました。その論議については三つの質問を考えました。まずは「安全」と言ったら何と思いうかぶでしょうか。私たちは安全の大切さと意味について話しました。第二に、身体と物事が無事であることと精神的に安らぎができることは同じことですか。そして、最後には、安全で平和な社会を作ることについて討議しました。下に、その三つのテーマについて討議を概説するつもりです。

安全についてはどのような意味を持っていますか。

私：あなたにとって安全とは何でしょうか。

ケーキさん：安全は健康でいられること、犯罪も事故もない状態。私は二年前から日本に来ました、日本はとても安全な国だと思います。夜バイトから遅く家に帰っても安心です。

ヌナーさん：一番最初に思いうかべたことは、事故がなくて夜中でかけても大丈夫。はっきり100%安全だと言える所はない。けれども、以前、私はオーストラリアに住んでいてそこはとても安全な国です。夜、一人で歩いても大丈夫だったんです。

グンさん：私にとって安全なことは偏執状態にならないこと。ここからやすらげる。例えば、夜でも出て歩けること、時間に限らず。

崔 元柱さん：犯罪がなくて、自分が安全な状態にいる事を確信出来る。不安がない安心でいられる事。けれども、自分が安心でいられない、または、不安と感じた時は自分の事をもっと気をつける。例えば、何か事件を見たり知ったりすると自分の部屋のかぎを確認をする

私の討論相手が思っている安全ということは大体同じです。皆が強調しているのは身体も無事であって心が安らぐ状態です。それは私の意見と同じです。でも、私の考えでは身体の安全と精神的な安全は同じではありません。そしてこの疑問を述べたいと思います。

身体と物事の安全と精神的な安全は同じことですか

グンさん：私が思う安全とは身体と物事が無事であれば、心も安らぐ状態になると思います。

私：身体と物事が安全だったら精神的も安全ですね。

グンさん：はい、私は同じ物だと思います。

私：「安全」はグンさんにとって大切な物ですか？

グンさん：もっとも大切な事だと思います。一番大切なことと言えます。

ケイさん：安全はいろいろなことに関係すると思いますが、私の考えは精神的な安全が先で身体安全は次に行くこと。全てのことは心に関係があるからです。私が思うのは安全ということは実在にふるえることではなくて感じる事が大切です。

ここまでディスカッションでは大体同じ意見だったけれども、この質問については意見がべつべつになってきました。ディスカッション前の私は精神的な安全のほうが大切だと思っていました。今でもその考えはあまり変わってはいないけれども、よくよく考えたら、例えば、物がとられたら、不安な気持ちになって精神的に安らぐことが出来なくなるかもしれません。ですから、どちらのほうが大切な問題ではなくて、両方の安全も必要だと思います。互いに支えて完璧な安全になると思います。

安全で平和な社会

私：安全で平和な社会を作るにはどうすればいいと思いますか。安全な社会を作るに

は誰の責任だと思いますか？

グンさん：私の考えでは個人的な問題ではありません。同じ社会に住んでいる人々全員で作るものなのです。でも、少しは自分の責任でもあると思います。やはり自分の事は自分で気をつけること、けれども、それは自分の身だけを守って他人の事をむしすることではありません。助けをもとめる人を助けない事は間違いです。社会のメンバー一人としての義務であることからです。

崔 元柱さん：突然どこで何かが起きるか分からないから、自分だけが例外では言えない。自分で自分の身を守らなければいけません。安全はいろいろな面がある。例えば、犯罪、交通、器械など。だから、気をつけたほうがいい、いつも用心をすること問題が起きてからじゃおそい。油断をしない事、どんなに安全だと思っても かばんをほったらかしをしないこと。安全は自分で作る物 家の中なら自分の責任 でも、公安の事については皆の責任だと思う。韓国では大学の門 24 時間開いているため バイトで学生をやとって 番人のお手伝いとして大学を見はる。私が思うにはリスクをなくす事が大切です。何か起きる前に予防のためしておいたほうがいい。いわゆる問題の可能性を出来るだけ減らす事。もちろん、犯罪を起こす人は悪いけれども、少しは自分の責任でもある。自分がいつも気をつければ、その目にあわないかもしれない。例えば、夜は危ないから出来れば夜遅く外を出て歩かなければいいと思う。自分でリスクを避けなければいいではないでしょうか。

お二人と話した後、私は新しい意見をもらいました。私が考えわすれたこと、それは自分のことは自分で守ること、いつも他人をたよってばかりではいけません。油断をしてはいけないことは大切だと思いました。何か起きてからではなくてその可能性を不可能にするのが一番重要なことかもしれません。

結論

安全について書きたかったのは、私にとっては最も大切なことである。誰もがそうだろうと思いますが、人によって安全のパターンが違っていきかもしれませんけれども、どの思考でも目的としては同じだと思います。何に対して安らかで危険のないこと、しかし、それは一人の力では出来ないと思う「社会は人々が作ったものなのです。その社会をどうすれば平和にさせるのは消して一人の問題ではありません。同じ社会に住んでいる人々の責任でもある。」これが、動機を書いたときの私のまとめでした。今でも私の考え方は変わっていません、だが、一つ思いついたことがあります。

それは、どのような社会を変わってほしいかは自ら努力すべき、一人のメンバーとしての任務からであること。そして、今私が何よりも望んでいることは住民が安心感を感じさせるような社会をもっともっと増えていくように願っています。

終わりに

このようなディスカッションしてみて、私は自分が今まで考えていなかったいろいろな問題について深く考えるようになり、良い勉強になりました。レポートを作成することは難しいが 人が分かるようにレポートを書くのはもっと難しいと私は初めて思いました。これからも日本語で良いレポートを書けるように頑張りたいと思います。ディスカッション相手になった皆さん、たくさんの意見ありがとうございました。心よりお礼を申し上げます。

音楽のコミュニケーション効力について

ペーテルセン・イエンス

動機

私は音楽に興味がある人なので、音楽でコミュニケーションできると思う。私にとって、音楽のコミュニケーション効力はとても大きい。たとえば、母語はどちらでも音楽のリズムとメロディーが分かって、一緒に聴き、弾き、踊ることができるのだろう。でもどのような人が音楽でコミュニケーションして、何をやる？ミュージシャンは曲を書き、CDを出し、コンサートで聴衆ちようしゆうに歌を聴かせる。DJはミュージシャンの作品をクラブの聴衆とラジオのリスナーに聴かせる。しかし、音楽でコミュニケーションしたい人は皆ミュージシャンとDJにならなければいけないのだろうか？

音楽のコミュニケーションについて言えば、ミュージシャンとDJは送り手で、普通の人を受け手だけだ。本当だろうか。私の意見は違う。だれでも音楽でコミュニケーションできていると思っている。みな、多分そうしないけれども可能性はある。たとえば、音楽に興味がある人は、たまに友達にミックステープ作ってあげる。ミックステープを作るのは技術だと思っている。時々友達にいい音楽しか聞かせたくないけれども、友達に何か特別なことを言いたいところもある。送り手から受け手に、ミュージシャンの言葉と手ざわりくし駆使して、自分の感じと意見を表すのは難しいけれども、面白い。

まずは音楽とコミュニケーションと感情の混合こんごうテーマにしたかった。大切な質問が「音楽で感情をコミュニケーションすることは可能的なことですか」と「どうやって音楽で感情をコミュニケーションしますか」であった。しかし、それをディスカッションをすることを難しそうなのでそれより一般的なテーマを選ぶことにした。みなは音楽が効力を持っているという言葉が賛成でき、ちょっと考えたら、みなは音楽がコミュニケーション効力を持っているという言葉も賛成できていると思っている。だが、人によってその

効力はとても違うかもしれない。だから沢山の人の音楽関係のことをディスカッションしたい。

それは私の音楽のコミュニケーション効力について考えだった。今から音楽コミュニケーションの送り手と受け手とディスカッションをする予定ある。ミュージシャンや DJ やリスナーの考えと意見が聞きたいと思う。この論文の動機はディスカッションをするおかげで自分の考えと意見を広げさせることだろう。

ディスカッションの相手の紹介

^{たかたたいすけ}高田泰介さんは PLECTRUM (<http://www.gapc.f2s.com/plectrum/>) というバンドの歌手とソングライターで ADVANTAGE LUCY というバンドのサポートメンバーである。PLECTRUM の音楽はうれしくてメロディクなパワー・ポップである。

^{ゆうこ}悠子は APILA (<http://page.freett.com/apila/>) というバンドの歌手とソングライターである。APILA は ^{かわいくて}可愛くてちょっとばかなギターポップを作る。

^{ねがわ}根川さんは何年もブラジルで日本語の教師である。

^{みどり}緑さんは音楽が大好きな人である。好きな音楽はアメリカとヨーロッパ製インディーポップである。

キンちゃん (男) はデザイナーで毎月二回ぐらい世田谷の WEB というクラブと新宿の音というクラブでイベントをやって、DJ する。

ディスカッション

2003年11月29日にPLECTRUMの^{しもきたざわ}下北沢でしていたライブの後に。

私：音楽のコミュニケーション効力のことを考えたことがありますか。

高田さん：うん、たまに考えているよ。今日のライブの間すごくうれしくなっ

てそれは^{かんきやく}観客の^{はんのう}反応のおかげ。

2003年12月3日に渋谷の宇田川カフェで。

私：悠子にとって、音楽のコミュニケーションは何？

悠子：ほかの人は、私のことをぜんぜん知らないけど、私の音楽と歌詞を聞いたら、多分私の考えと生活が分かる。

私：ライブする時にそのコミュニケーションは何？

悠子：私の音楽と歌詞でメッセージがなくて、何か特別なことは言わないけど、ライブに来てくれる人はいい雰囲気を通してうれしくなるといいね。それだけ。

2003年12月19日に総合の授業の間に。

根川さん：ブラジルに着たばかり時にポルトガル語がよく分からなかったけど、ブラジル人といっしょに音楽を聞き、踊る時に、音楽のリズムはお互いの言語になりました。音楽でコミュニケーションしました。

2003年12月21日に渋谷の宙というクラブで。

私：緑さんに音楽のコミュニケーション効力は何ですか。

緑：自分で音楽を作らないけど、音楽が大好きで、いつも友達とMDの交換します。昔はミクステープの交換だけれども、MDの時代になってからそれは最高ですね。

私：どうして？

緑：私にとってミクステープでも交換したら、順番は、曲のセレクションの次、一番大切なことだと思います。でも、テープを使うと曲の順番を変えるのはとても大変で時間がすごくかかりますね。一方ではMDの倍は順番を決めることはすごく簡単になりました。

私：どうして、曲の順番はそんな大切なことですか。

緑：このような音楽交換はそれぞれの曲ではありませんね。全部の曲は一緒にすべてしたいからです。交換とする人に自分の好きな曲をあげて好き

になりたいですね。曲の順番で自分の曲見方を示すことができます。

2003年12月24日に下北沢でしていたクリスマスパーティーの間に。

私：どうしてDJする？

キンちゃん：楽しい！

私：どうして楽しい？

キンちゃん：えっと、イベントをやるのが好きで、友達と遊ぶのが好き。

私：音楽のコミュニケーション効力は何？

キンちゃん：俺はクラブで好きな曲を聞かせて、人が踊りはじめほどうれしくなるの。それは最高！

結論

色々な人とディスカッションをするのは本当に楽しかった。私は音楽が一番大きい興味なので、いつも友達と自然に音楽についてディスカッションをするから、この論文のディスカッション部に出ない人もディスカッションをしたけれども、ここで一番面白い話と一番大切な点を出させた。

私にとって、PLECTRUM の高田さんは一番面白い点を述べたのだろう。私はミュージシャンではないので高田さんの考え方は新しい。その話していたライブの観客にいた私、PLECTRUM の音楽からとてもうれしくなったし、本当は観客の私たちも高田さんに同じ感情を送った。音楽をやらずに音楽で感情をコミュニケーションできて、ミュージシャンと観客は互いの音楽コミュニケーションできたことにちがいない。その前、このような考えはあまり考えなかったのですてきな経験なのだろうか。

ラジオとクラブでDJしたことがある私、キンちゃんと話すのは面白かったけれども大体同じ考えがあるみたい。キンちゃんの言ったこと以外、私はDJする時に、他の人は私の曲セレクションを聞いている知識が私にとっても暖かい感じをくれる。

この論文の動機は私と相手の音楽のコミュニケーション効力について考えを比べ、私は相手とディスカッションをして、新しい見地を聞きながら、自分の考えと意見を広げさせることができるのだろう。

私と高田さん以外の相手さんは、かなり同じ考え方があるらしいので、自分の考えと意見を進展しんてんさせることはあまりできなかったかもしれない。そう思ったら、この論文は意味がなかったと言える。だが、そうでもないと思う。ミュージシャンもDJもリスナーも、このようなディスカッションをできたので、音楽のコミュニケーション効力は本当に大きいということを確認かくしやうされた。綺麗な結論きれいではないだろうか。

残念だが、現在、ミキシング機器は持ってないので、好きな音楽を聞かせることがよくできないけれども、この論文と二つの mp3 ファイルを入れる。

1. APILA – Beckham Song （ディスカッション部に出る悠子さんのバンド）
2. RADIO DEPT. – The City Limit （私の2003年の一番好きな曲）

終わりに

総合の授業を改められることが多いと思う。第一は、学生が書いたレポートを直すことになったらいいではないだろうか。第二、皆は他のレポートをよく読めるようにするために、ふりがなを使わなければならないにしたほうがいい。他の人のテーマに全然興味がないと、ディスカッションをすることも難しくなると思った。だが、総合のいい点もある。授業中はいつも楽しかったし、いっぱい日本語を話して、総合の授業のおかげでもっと自然に日本語で話せるようになった。

サッカーと私

イングヴェ・ラーセン
超人組

目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論

動機

私はいろいろな趣味を持っているけれども、その中でも一番好きなのはサッカーである。実は私は昔サッカーが大嫌いだった。しかし、9歳の時友達が駐車場ちゅうしゃじょうでサッカーをしていて、見ていた私を誘ってくれた。その時に初めてゴールをきめて、サッカーが好きになった。それがきっかけで近所のサッカーチームに入ることになり、定期的ていきてきに練習をするようになった。18歳になるまで、毎日のように学校後チームで集まり、一緒に練習や試合をした。しかし、ノルウェーでは男性が一年間軍隊にはいなければならない。その強制的きょうせいてきで無駄な一年の間に私はあまりサッカーをやることができなかった。軍隊の後、大学に入って、サッカーの練習を再開さいかいした。

4年前に、私はオスロに住んでいる色々な友達と新しいサッカーのチームを作り、ノルウェーのリーグに入った。ロコモティブ・オスロというチームの選手達は野心があるけれども、一番重要なことは仲間と一緒に練習したり遊んだりすることだと考えている。私は昨年の一月に練習でももの筋をちがえてしまったので、あまり練習に参加することができなかった。しかし、その代わりに社長きびに選ばれた私は厳しくチームを管理かんりした。

もちろん、世界中のサッカーにも興味があり、ライブでも、テレビでも試合を見る。一番好きなリーグはイングランドのプレミアシップである。12歳の時からそのリーグのリバプールのチームを応援している。実はそのチームの試合を見るために、1995年にリバプールへ引越し、5ヶ月の間そこに滞在たいざいした。その間はスタジアムへ試合を見に

行ったり、バーで友達になったリバプールのサポーター達と楽しく過ごし、大変良い経験になった。

ノルウェーではリバプールの試合がよくテレビで放送ほうそうされるので、そのときはたいてい友達とバーに行って、チームを応援する。東京にもそのようなバーがあるので、試合を見ることができる。しかし、日付変更線ひづけへんこうせんのせいで試合が遅く始まるので、ちょっと困っているのである。東京に来る前に、ほかのサポーターと一緒に試合を見るために、リバプールのサポータークラブの日本支部にEメールを書いておいた。返事をもらったので、今度その日本支部のメンバーに会いに行こうと思っている。

日本のサッカーについてあまり知らないけれども、一度だけ見に行ったことがある。2年前に4ヶ月ぐらい北海道東海大学ほっかいどうとうかいだいがくに留学していた頃に2000年に建てられた札幌ドームさっぽろというすばらしいスタジアムでの、コンサドーレ札幌というチームの試合だった。リバプールと比べてスタジアムはハイテクで近代的きんだいてき、応援するサポーター達の態度もとてもよく、印象的だった。ぜひ東京でも試合を見に行きたい。

私はサッカーが大好きだけれども、最近のサッカー事情に、少し懸念けねんしている。例えば、イングランドで、多くのサッカーの評判ひょうばんを落とす事が起こっている。9月には、17歳の女の子が、ロンドンのホテルである有名なサッカー選手ぼうこうに暴行しゅちようされたと主張し、世界中で新聞に大きく取り上げられた。その事件だけではない。バーで知らない人と喧嘩けんかをしたり、コカインを吸ったり、違法のステロイドを使用するなどいろいろなスキャンダルが最近起こっている。多数の選手はもちろん行儀ぎようぎをよくしているけれども、態度の良くない選手の数が増えている。数年前からどんどん増えてきているそうである。最近、現在の選手ひはんを批判ひはんしている新聞記事が前より増え、スポーツ記事ではこの悪い傾向けいこうの理由についてよく話題わだいになっている。

なぜ態度が悪くなったか私の考えをちょっと書こうと思っている。現在の一番上手なサッカー選手は世界中でスーパースターになった。有名になったし、お金持ちになっ

たし、選手達の生活は急に大きく変わった。たぶんその変化を処理できないのかもしれない。また、選手達は偶像化されているし、したいことは何でもできるほどお金があるし、生活は普通の人とはすごく違い、選手は自分たちをほかの人よりも優れているとか権力があると考えていて、勝手なことをするのだと思う。

ディスカッション

私はイエンス・ペーターセンさんとリバプールサポータークラブ日本支部の鹿志村克さんと安東真希さんとサッカーについて話しました。

イエンスさんはサッカーが好きですが、最近あまり試合をみに行かなかったそうです。イエンスさんの好きなチームはイングランドのマンチェスター・ユナイテッドです。

鹿志村 克さんは1998年からリバプールチームを応援していて、定期的に恵比寿にあるThe Footnikというバーでリバプールの試合を見に行きます。安東さんもリバプールチームを応援しているけれども、ACミランも好きだそうです。

私: サッカーが世界中で流行っています。なぜだと思いますか？

イエンス: いろいろな理由があると思います。サッカーをするために必要なものはボールだけで、ボールさえあれば貧乏な人でもだれでもサッカーができます。例えばサッカー史一番有名な選手、ブラジル人のペレは、子供の頃お金がなくて、ボールが

買えず、自分で作ったボールで、道端^{みちばた}でサッカーをしていたそうです。しかしペレは世界の一番上手な選手になりました。他の理由はグローバラゼーションという現象^{げんしょう}だと思ひます。サッカーは日本の伝統^{でんとうてき}的なスポーツではないですが、最近盛んです。他のアジアでも同じ事が言えると思ひます。ヨーロッパのサッカーチームが考へていることは、アジアでサッカーを普及させればお金をたくさん設^{もう}けるということです。例へば、フルハムというイングランドのチームのスタジアムで行われる試合には、日本人の稲本選手^{いなもと}を見に来る日本人の観客が毎回400人くらいだそうです。その観客達は、フルハムのユニフォームやマフラーなどを買うので、チームはお金を儲けることができるのです。

鹿志村: 他のスポーツより面白いですから。私は日本人だから、野球も好きだけど、一番興味があるスポーツはやっぱりサッカーです。

安東: 選手がぴったり合うユニフォームを着ているから！(笑っている)

私: 東京にはリバプールのサポーターは多いですか？

克: 少ないです。サポータークラブのメンバーは全部で44人しかいないのです。新しいメンバーが欲しいのですが、しかも、クラブの活動に参加していないメンバーが多いです。例へば、この間忘年会^{ぼうねんかい}があったけど、7人しか来なかったのです。

私: 安東さん、サポーターの中で、女性は少数ですが、男性の多い環境に参加することはどうですか？

安東: ヨーロッパと比べると、日本では女性のサポーターが多いから、大丈夫です。いい男の友達もできたよ。海外でも女の友達と一緒にならオーケーです。

私：最近、イギリスを初め、他の国のサッカーの選手の態度が悪くなりました。例えば、レイプと麻薬まやくの事件がありましたが、このことについてどう思いますか？

鹿志村：サッカー選手は自分のためだけにプレイしていればいいのではなく観客に見て楽しんでもらえるプレイをするのも使命しめいの一つだと思います。それを考えると、プレイ以外の行動こうどうについても常に人々に見られていることを意識いしきし、謹つつしんで行動すべきと思います。

安東：そのプレーヤーが調子をのりすぎている。

イエンス：そうですね。いろいろな悪い事件がありましたよ。簡単にすると、お金とか名声めいせいのせいだと思います。

私：現代の選手の給料は高すぎると思いますか？お金と態度は関係があると思いますか？

安東：海外(ヨーロッパ)ではフットボールが認められていて、国の文化になっているから、それだけの金額きんがくをもらえる仕事をしているプレーヤーもいるけど、もらいすぎのプレーヤーもいる。

鹿志村：選手として活躍かつやくできる期間きかんが一般の人々に比べると短いので、短期的たんきてきには高い給料をもらうことも理解できないことはないのですが、全体的ぜんたいてきに見てやはり高すぎると思います。ほんの少し前まではそれほど高くはなかったとは思いますが、急激きゅうげきに高くなりすぎていると思います。態度との関係は、実情はピッチでのプレイに対する

評価が給料の大部分だいぶぶんを占めているのだと思います。でももう少しプレイ外の態度も評価した方がいいかもしれませんね。

結論

総合の授業でも、授業の外でも、サッカーの好きな人と話して、意見を交換した。リバプールサポータークラブ日本支部の一番かっぱつ活発なメンバー、鹿志村さんと安東さんなどサッカーを通じて友達になった人とよく一緒にサッカー試合を見たり、遊びに行ったりする。世界中でサッカーという共通きょうつうの興味を持った人が見つけられるので、海外へ引っ越して生活した時や旅行に行った時など、すぐに知らない人と友達になることができると思う。サポーター達の中で、文化とか言葉の相違は問題にならない。それはサッカーの一つの特徴だと思う。例えば、ボラカイというフィリピンの島を旅行した時、夕方になると、フィリピン人もいろいろな国から来た観光客もすなはま砂浜に集まって、一緒にサッカーの試合をやった。普通のコミュニケーションが難しかったけれども、サッカーのおかげで、皆が楽しんで、新しい友達を作った。

サッカーの事情が少し悪くなっても、まだ私の一番好きなスポーツである。リバプールチームが試合に負けても、すぐ忘れて、次の試合を楽しみにする。ディスカッションをした皆も同じ意見だと思う。サッカーはスポーツだけではなく、本当にライフスタイルである。

最後に、リバプールのサポーターが60年代から歌っている有名な「You`ll Never Walk Alone」という歌である。

When you walk through a storm,
Hold your head up high,

And don't be afraid of the dark.
At the end of a storm,
There's a golden sky,
And the sweet silver song of a lark.

Walk on through the wind,
Walk on through the rain,
Though your dreams be tossed and blown..
Walk on, walk on, with hope in your heart,
And you'll never walk alone.....

Walk on, walk on, with hope in your heart,
And you'll never walk alone.....
You'll never walk alone.

終わりに

ずっと同じテーマについてディスカッションをしたり、考えたり、書いたりするのはつまらないと思う。研究だったらいいけど、総合は研究ではないだろうか。あとは、フィードバックは内容だけについてなので、あまり日本語を習っていないと思う。文法は全然問題がないようだ。

私が決められたら、順番に発表したほうがいいと思う。発表の後に、みんなが発表者の選んだテーマについてコメントしたり、ディスカッションしたりすればいいと思う。それをしたら、毎週新しいテーマになるから、もっと面白くなるだろうか。

少し批判して、ごめんなさい！もちろん、リーダーとクラスメートのいい性格のおかげで、授業中のいい思い出が多いのだ。

私が感じた日本のファッション

崔 元柱 (チェ ウォンジュ)

動機

私は韓国でファッションが専門だったので日本のファッションにもたくさん興味を持っていました。その時はただ日本が色々なファッションがある面白い国だと思っていました。ほとんどの人々は日本のファッションと言ったらどんなイメージをもっているのでしょうか？たぶん面白い、恰好いい、かわいい、おかしい、気に入らないなど様々な意見があるでしょう。もちろんそれは人によって違います。

今私はここで日本のファッションは良い、悪いなどの評価を言いたいものではありません。ただ私が日本のファッションを直接見て何をどういうふうに考えたのかについて話したいです。私が9月に日本へ来てから今まで本当に多様なファッションスタイルを見てきました。それで今は日本のファッションについて自分なりに簡単に定義できるようになりました。

私は日本のファッションは自由があるし面白いし個性があるファッションだと思っています。もちろんすべての日本人がそうではありませんけれども全般的に見て感じたものです。その上私はなぜ日本人はそのようなファッションを追求(ついきゅう)しているのかもちょっと考えてみました。そして自分なり次のような結論を下しました。

それは日本の社会的な雰囲気や構造(こうぞう)と関係があって社会が作った産物だと思えます。日本は個人より団体が強い国であり規則で型にはまった社会だと言えます。代表的な制服文化があります。つまり自分も分からないうちに抑圧(よくあつ)されたり拘束(こうそく)された個性がファッションをとして表れたものだと思います。それでファッションとして自分の自由や個性を見せるようにして精神的な満足もできるようです。

つまり日本の特徴と言うのは日本の社会的な特徴と関係があるものだと感じました。それをどういうふう感じてどういうふう分析するかのは人によって違うと思いますが私は先のように感じたのです。

日本のファッションと言うものをただそのまま見るのではなくて日本で生活しながら日本の社会的な特徴に関して考えてみるのはファッションを勉強している私には意味がある作業です。その上ほかの他人の意見も一緒に聞きながら日本のファッションに対して討論することも私か感じられないかも知らないことを聞ける良い機会だと思います。

Discussion

discussion 1 .

W: 日本のファッションに対してどう考えていますか？

A: 日本人はファッションについてたくさん興味をもっているし大好きだと思います。日本ではタイと比べて色々なファッションがあって自由があるから良いと思います。タイには流行と言うのがあまりないです。ほとんどの人々はファッションについて興味がないです。しかし日本のファッションは自由があることはいいですが本当に似合わないスタイルを見た時はおかしいと感じたこともあります。すべての人々がそうではありませんが時々見えます。それでも日本には色々なファッションがあるからいいとおもいます。

W: 日本のファッションを簡単に説明するとどのように言えますか。

A: ほかのくにと比べて髪型, accessories, ファッションスタイルなどで色々なファッションが存在しています。しかしだいたい年齢ずつ似ています。求めているファッションが同じだと感じました。つまり日本のファッションには個性と流行が一緒にあります。

W: 日本のファッションが社会的なことと関係があると思いますか。(関係があると思ったら説明もして下さい)

A: はい。私も社会的なことと関係があると思います。しかし私の意見はWさんの意見とちょっと違います。社会が型にはまっているから自身の欲求をファッションをとして発散している人もいますしそうではない人もいます。他にテレビの芸能人のように自分が憧れている人のようになりたいからファッションも同じファッションをしている人が多いじゃないかなと考えてみました。そして何よりファッションのリーダにあり若者の考え方が変わってきたとおもいます。就職、プリタなどの社会的に様々な問題のせい若者の考え方のもっと色々な考え方ができたからファッションも以前より多様になったと思います。

A: さんと私の討論の中で一致したのは日本には色々なファッションがあって面白いし自由が感じられることでいました。そして社会的な事と関係があるとおもっているのは同じですがその解析はちょっと違いました。それでも私は A さんの意見に反対ではありません。それは見る人によってずいぶん違う可能性があるからです。むしろお互いにいけんがちがったので面白かったです。私は日本のファッションの個性だけみましたが A さんは同一性もみて言ってくれました。それで私は日本のファッションがもっている

個性と同一性の両面性も考えるようになりました。

discussion 2 .

W: 日本のファッションに対してどう考えていますか？

J:自由があるからいいです。韓国よりもっと多様なスタイルがあります。他の人はあまり意識しなくて自分が好きなスタイルを求められる雰囲気が好きです。ファッションがよく別れています。なぜか分かりませんがブランドが大好きな国だと思います。

W : 日本のファッションを簡単に説明するとどのように言えますか。

J: 一口で言うのは難しいです。ただ日本は他の国と比べて一番ファッションが発展している国だと言えます。

W: 日本のファッションが社会的なことと関係があると思いますか。(関係があると思ったら説明もして下さい)

J: 関係があると思います。これと関係があるかも知れませんが経済の状態が良くないほどファッションはもっと派手にあり明るいデザインを求めるし逆に経済が良いほどシンプル & minimal デザインが流行するようになるということを聞きました。それはファッションと経済の関係だけではありません。社会の全般的な事と関係があるものです。

わたしは特に日本のファッションが集団と関係があると思います。日本は個人より集団が強いです。それで日本人は自分が属している集団の中であり自分の役に合っているファッション、そしてその集団と離れていないファッションを追求していると思います。そしてブランド品ファッションが好きなのは外的な部分で人を判断する傾向がある社会的な雰囲気がまだあるからだと思います。

J さんは日本のファッションは他の国より発展しているし色々なファッションがあるからいいと思っていました。しかし日本は集団性や社会的な雰囲気がまだ強いから自分の個性より他人に合わせてファッションを求めるとしていました。 J さんは日本のファッションは個性があるけれどもまだ集団性が強いからほとんどの人々は同じファッションを求めていると言いました。この部分は私とちょっと違う観点で見たのでおもしろかったです。

discussion 3 .

W: 日本のファッションに対してどう考えていますか？

T: 装飾的で派手なファッションだと思います。

W: 日本のファッションを簡単に説明するとどのように言えますか。

T: 創造と従いのファッションだと言えます。個性があるファッションを求めている人もいたただファッションだけ見て従っている人もたくさんいますから。

W: 日本のファッションが社会的なことと関係があると思いますか。(関係があると思ったら説明もして下さい)

T: もちろんあります。日本の女の人の社会的な地位が昔よりもっと上がって職業がある女の人も増えてきました。それで経済力を持って自分が自分のために投資できるようになりました。しかし日本は物価が高いから家や車等の高価なものはやさしく買えません。その代わりにファッションとして自分を表現して満足するようにします。

Tさんも日本のファッションが社会と関係があると言いました。しかしそれを見る観点は女の人の社会的な地位変化と関して解析しました。わたしはその意見を聞いて共感できる部分もありましたが他に男の人のファッションに対して説明する時には無理があると思いました。

討論の後

社会的な状態を分析するときこれだけ正答だと言うのはできません。それは見る人の観点によって違うからです。わたしはファッションも社会的な産物だと思っていました。私だけではなく私と討論した全ての人々も日本のファッションが社会的な部分と関係があると思っていました。日本はファッションが発達している国に違いありません。このような日本のファッションを見ると社会的な原因と関して解析することは私にとって本当に面白いことです。ただ日本に来て日本のファッションを見てそのまま終わってしまうと別に意味はないです。ファッションを勉強している学生としてファッションと社会、そして時代と関して自分なりに定義するのは何より素晴らしい勉強だと思います。討論したとき私と一致した意見もあったし全然違う観点で分析した場合もありました。討論中私が気づいてなかったことを聞いた時にはまた他の観点で考えられるようになって共感できる内容もけっこうありました。これが討論をとうして私がもらった一番大きい成果や得だと思います。

結論

ファッションは社会的な産物ではありますが自分の個性や自由を現れる一番いい手段もできます。日本のファッションを見て社会的な原因と関して解析した皆さんの色々な意見を聞いて上のように意見を纏めました。

他の人はどうか分かりませんが私は日本のファッションが好きです。自由が感じられるし面白いし個性があるからです。1年間交換留学生として日本語だけでなく日本のファッションも感じられるし体験ができるから嬉しいです。後8ヶ月ぐらい残った時間も私にとって素晴らしい授業になるだろうと思っています。そして留学が終わって帰る時、私のファッションもずいぶん変わっているでしょう。私は考え方も型や形式にはまらなくて自由になる事を願います。自由なファッションは私の人生をもっと楽しい人生に導くと思います。

終わりに

超人組みの皆さんと一緒に楽しい時間を過ごして良い思い出になると思います。色々で良いコメントをしてくれた皆さんに心から感謝いたします。特に大変な時レポートを書くように助けてくれたはっしー、のりこ、めいに感謝いたします。本当にお疲れ様でした。ありがとうございます！

“ グループで勉強するのは、どう？ ”

動機

僕は今まであまりいいグループ経験がない。実は、学校の関係でグループを作らされ、別に同じ興味や経験がない人と一緒に問題を解いたり、研究したりするのがあまり好きじゃない。僕がなぜこういう気持ちを持っているか、今説明して見る。

高校時代、社会科のプログラムに入っていた。それは普通の高校プログラムと違い、先生たちは大学と同じく教育する野心を持っていた。大学の用意が目的であった。歴史、社会科、国語と地理学を全部“プロジェクト”という一つの科目に合わせ、毎学期一つのテーマを勉強する方法であった。普通の授業はほとんどなく、テーマについて問題を作り、調べ、それでその自分が作った問題を解く事が必要であった。少々研究のような物である。このコンセプトはとてもいいと思うが、二年の間必ず先生の決めた五人のグループに入っていなければならず、やはり、勉強の進行がなかなかできなかった。

学期のテーマについて、グループは色々な社会的な問題点が入っている一つの全体的な問題を作り、グループメンバーはその問題に答えるために一人ずつ自分の分野を選ぶことになっていた。つまり、みんなの論文を合わせたらグループのその全体的な問題の結論ができるように勉強する計画であった。けれども、ほとんどのメンバーがいつも興味や勉強する動機が違い、協力が無理になってしまった。グループと一緒にいる時、よけいな話をしたり、ぐずぐずしたりしていたので、本当に時間の無駄だと思っていた。それから、みんなの別々の論文を纏める時、メンバーの結論がグループの全体的な問題にぜんぜん関係がない事も多かった。

二年間で、このグループ活動がいいと思った事は一度しかなかった。卒業する直前に、同じ興味や動機がある学生たちと一緒に適当なグループを作ることができた。興味があったから価値観を交換し、いいディスカッションができたし、

動機もあったから勉強も進められ、一緒にいいレポートを書く事ができた。しかし、こういう特別な条件がある場合はとても珍しいわけで、学校はなぜこれほど“グループ活動”が好きなのだと考える。人間関係や協力する練習になるけれども、人間関係はどこにもあると思うし、社会人になると色々な人たちの専門能力を合わせて問題を解くだろう。だが、他の意見を持っている人たちと一緒に働けるようになる事はやはり大事な点だと思う。どこに勤めていても、そういう状況が起こるから。

纏めに、同じ関心や動機がある学生たちと一緒に適当なグループ”を作れない場合は、グループ活動はあまり良くないと思う。時間の無駄の感じがする。それが僕の経験と意見である。みなさんの価値観はどうだろう？

最後に、この総合グループ活動は僕が書いたのとちょっと違う。目的は日本語を使う事であって、その方法はみんなのテーマについてディスカッションし、価値観や意見の交換をし、自分のレポートを書く事だと思うからだ。けれども、一応グループ活動ではあって、ちょっと僕のテーマに関係があるから面白いと思う。僕の意見は学期の終わりに違っているだろうか？

ディスカッション

以下に学校でのグループ活動について総合学生と私の友達、合計約十人でディスカッションした結果を発表する。名前を出したり、引用したりはせず、三点に分けて意見を討論したい。その理由は意見あるいは経験のいつかは何回も取り上げられ、ある特別な個人のものであるという事と、極端意見が逆にある個人に結びついてしまう事をさけない為である。

グループ活動に関するディスカッションは次の三つの質問にもとづいている：

- あなたは勉強の方法としてのグループ活動をどう考えるか
- 学校環境での色々なグループ活動に関し、あなたはどのような経験があるか
- どうして学校ではこれほどまで多くのグループ活動があると思うか

けれども、元の質問をしてから、もっと適当なディスカッションができて、ディスカッションをこの三つ「人間関係と協力？」、「色々なグループ活動」、「グ

グループ活動職業生活の準備？」のサブタイトルに分けて書くことにした。

人間関係と協力？

グループ活動の意見について質問された人がまず最初に考える事は「協力、お互い認めあう事を学ぶ」という事である。ところが人々の経験はこのテオリーに合わない事が多く、私自身の経験と同じく実際にいつも出て来る問題がある。

問題の一つとして、高校、大学の両方のレベルで必ず自分では貢献せず「グループの波に乗っている」人がいる事である。その結果は色々な面でいつもネガティブである。ほとんどのグループには必ずひとは大変熱心で、色々な理由で最高の成績をめざす人がいる。その人の良い成績がりを成功させる動機は大変強いので、失敗は許されず、その為何人か分の仕事をするはめになる。すべての科目で最高の成績をめざす事自体が大変である上、他の人の仕事までもしなくてはならないというのは誠につらい経験である。あまりやり気が無く「グループの波に乗っている」似としては他の人の仕事に頼りきると楽と言えば楽だが、自分で学ぶ事は一つもなく、長い目で見ると自分自身をだましているだけである。同じ問題のもう一つ面は、やる気のある人がやる気のない人に足をひっぱられるという事である。前者にとってこれはフラストレーションのたまる元であるし、大きい悩みの種である。やる気のある人自身が問題になる事もある。彼は支配的になり易く、他人の仕事に満足しない。彼程優秀ではない者が自分なりに一生懸命した仕事に文句をつけられ、自信を無くし傷つけられる事になる。

もう一つの問題はひとつのレポートをいくつかに分ける方法が多いという事である。ひとりひとりが一部ずつ担当するわけである。もちろんこの方法は能率的だが、結果として「協力」したとは言えない。その上、課題の全体的なはあくがあやふやになりやすい。

ほとんどの人は社会的な能力は友達と会ったり、クラブ活動に参加したり、パーティーに行ったり、つまり自分の興味を活かすことで、自然に学ぶものという意見である。初めから社交的な人がいるように、はずかしがりやで自信が無く、友達を作るのがにが手な人は必ず居る。このような人にとっては社交性をきずく為学校でのグループ活動は大切であるか知れない。

色々なグループ活動

ディスカッションから分かる様に、グループ活動の色々な方法は良くも悪くも受けとめられる。最悪のケースは教師が選んだメンバーで作られた大きいグループで一つのレポートを書く場合である。メンバーが少なければ少ない程良い協力の出来るの可能性がある。学生自信にメンバーを選ばせる事も努力がうまく行くチャンスを増やす事につながる。

一番好まれるグループ構成は言わゆるディスカッション・グループ、あるいはセミナー・グループである。例えば、セミナーにそなえてグループの全員が同じ学問的な文を読む。それから内容を話し合い、分からなかったをお互いに質問し合う機会を持つ。これはほとんど大学レベルの勉強方法であり、みんな興味や動機を持っている。全員があらかじめ同じ文章を読んでいれば、他のグループメンバーの色々な知識や見方がとても役に立つ方法である。

グループ活動職業生活の準備？

この点について、人によっては学校でのグループ活動は実際の職業生活とはほど遠い人工的な環境だと言う。職業生活において協力は会社あるいは機関がうまく行く為に当然しなくてはならない事であり、強制されるものではない。ある人は学校システムがグループ活動をひきにしていなければ、逆に彼の最初の職業生活経験はもっと行っていたはずとさえ言う。彼によると、学校時代に慣らされていた人工的なグループ活動の環境に比べ、本格的なプレッシャーとストレスにかけられてショックを受けたと言うのである。

私、健、はグループ活動が職業生活の準備を悪くすると言うのは大げさだと思う。初めての職業生活経験をどのように扱うかというのは全く個人的な事であり、各自の性格による場合が多いと思う。

結論

ディスカッションを通し、多くの人が私と同じようなグループ経験をもっているという事と、勉強方法としてのグループ活動にはあきらかな問題点がある、という事が分かった。特に一緒にレポートを書く時に問題が出る。私が話した人全員が他のグループメンバーと一緒にレポートを書くより、自分自身で

書く事を好む。他人と一緒に書かなくてはならない場合は自分たち自身で選んだ小さいグループが一番良い。強制された協力は全く無意味である。

グループ活動の問題は成績がりののはげしい高校時代に最大だと私は思う。成績を気にしなくてすむなら、だれと一緒に勉強しようともかまわないわけである。ところが、現在多くの国で成績の持つ意味（進路が成績の良さで決められる）を考えると、ディスカッションからも分かる様に、色々な面で自分と違う向上心を持つ人と一緒に勉強するのはネガティブである。大学では自分で協力する人を選べる2 - 3人の小さいグループでレポートを書く場合が多いので、グループ活動が大きいはいでうまく行く事が多い。しかし、ここでも向上心に欠け、「グループの波に乗る」人の問題は残っている。

最後に、私のグループ活動についての意見は、この課題を通してより広い見解を得たとしても、変わっていないと言いたい。グループ活動は自分でメンバーを選び小さいグループで勉強する以外大変ネガティブな勉強方法だと思う。一番大切なのは教師がグループ活動のもたらす問題に目を開き、それが必ずしも素晴らしく発展的な勉強方法であるとは限らないことを意識する事であると私は考える。

終わりに

超人組みのみんな、おつかれさまでした！はっしー、のりこ、めい、色々我慢してくださって、ありがとうね：)

総合は色々な問題があると思うが、言葉を習うのは（まー、何でも）やはり自分の動機によるものだと思う。

夢と現実

作家：サイダリハキモフ

ディスカッションの相手：ディマさん、インドレさん

内容：

- 1 . 本文
- 2 . ディスカッション
- 3 . 結論

本文

私が選んだテーマは人々の毎日に起こっている、でもほとんど誰も目を止めていない出来事、夢についてである。実は夢は昔から奇っ怪な事になって来、ある人がたくさん興味を持ったりそのことを学習したりして来る。今も夢や夢と関係がある事に興味がある人はいるはずだが、この頃みんなは忙しそうだからあんなによくその事について話さない。しかし話し始めると皆は気を取られると思う。だからこのテーマを選びました。私の目的は夢についての知識や意見などを皆と交換する事である。レポートの中で夢の特徴(とくちょう) 損得(そんとく) 夢を見るとき自分が分かる事、夢と将来の関係、夢は人の心的状態と生活にどんな影響を及ぼせるかなどについて書く。私は自分の意見を証拠立てる(しょうこだてる)ように色々な例を挙げる。では始めましょう。

みんなは毎日夢を見る。ただみんなは夢に見た事を覚えられない。夢を覚えられる事や寝ている時の体の状態やその状態と夢の内容の関係など全部は夢の特徴を組み立てる。夢を覚えられる事は見た夢の内容と夢を見ている人の心的状態だけでなく、起きた後の活動にも依る。例えば内容がとても印象的な(いんしょうてき)夢は覚えやすい。そして夢で見た有る出来事は他の出来事の後に付いて来たら、夢はもっと覚えやすくなる。普通は夢でひとつの長い出来事を見ない。それは寝るとき意識のある状態とない状態は何回も交換しているからである。でも大変疲れた人はそのような夢を見ても覚えられない場合も有る。それは感覚(かんかく)が疲れて弱くなったためである。さらに起きた後の動作が夢で見た出来事とよく関係が有ったら、その動作をしている時、夢を思い出せる場合

も有る。次に、夢を見ている時、からだの状態についてである。普通は夢を見ている時、体が非活動期（ひかつどうき）である。眼球（がんきゅう）はのろのろ右と左へ動いている。しかし豪快（ごうかい）な夢を見る場合は眼球はとても早く動き、体も能動的（のうどうてき）な状態に変わるかもしれない。これらの全部は夢の特徴を説明する。

さらに、夢の中で自分が分かる事についてである。それは夢を見ている時、自分は現実にはではなくて夢の中にいるのが分かることである。夢と現実がひとつの根本的の（こんぽんてき）違いが有る。現実では私たちの考えの外には無限（むげん）のものがある。夢ではすべての出来事が私たちの考え以内に起こる。夢の出来事は私たちの考え方の反映（はんえい reflection）と賛成（さんせい reproduction この言葉に注意を払いなさい）である。だから私たちの現実の生活に出来ない（起こらない）出来事がよく有る。もし夢の中で自分が分かったら普通の生活に出来ない色々な面白い事が出来る。実は考えられる事が全部出来る。それで夢の中で自分が分かたら、夢はとても面白く、楽しくなると思う。例えば自分で空飛べることや時間を支配出来る事などが好きではない人はいないと思う。然るにそれは誰でもいつでも出来る事ではない。自分が分かるのに色々な方法が有るんですが、その方法を使っても全然出来ない、他方では、その方法をあまり使わなくても出来る場合もたくさん有る。例えば毎日生活に見ている全ての出来事に対して、これは現実か夢かとそのような質問はいつも自動的に出るようにしていたら、夢を見る時、自分が分かるチャンスが大きくなると思う。どうしても夢で自分が分かるのは人による事になって来ている。

最後には、夢と将来の関係や夢は葉の人々の心的状態と生活にどんな影響を及ぼすかについて書く。夢は叶わなくても実現の生活に影響を及ぼせるか。皆さんどう思う。（多分、この質問は実現の生活で大変忙しくて夢はどんな事かも分からない方に聞かない。）みんなは唯物（ゆいぶつ）的な世界に住んでいると思いますが、きもちやきぶんなどのことは不唯物の性状を持っているのに注意を払わない。しかしどんな生活でも気持ちの方がとても大切である。だから夢は人の生活に影響を及ぼせると思う。一つの場合は夢で悪い事を見て、起きた後でも夢を覚えている気持ちである。その出来事は現実の生活に起こらなかったでも、おこれることだったらその人を少なくともでも心配させるかもしれない。次の場合は夢の出来事を全然覚えなくても、夢を見ている時の気持ちが今までも残った場合である。こうやって夢は人々の現実の生活に気持ちによって影響を及ぼせる場合が色々有る。

私たちは毎日生活にやっていることは全部無意識的にやったことや意識的にやったことに分かります。無意識な事は起こっている事を直接考えて分からないで、その問題は気持ちや気分などに考えされる事です。ですから忙しくて詳しく考えないで通った問題は忘れられないで無意識で考えられて結果が夢の中に出られる。先に行ったとおりに夢は考えの反映だけでなく、再生でもあるからそのような無意識のことから一つ新しい考えが出られると思う。だから、もし

直接考えたら将来について推測（すいそく）できる考えなどは無意識に移って将来を説明出来る出来事を夢で見えると思う。それにもかからず夢の事はまだまだ曖昧な（あいまい）事になって来ている。これからはディマさんやインドレさんとディスカッションし、このテーマを出来るだけ明らかにするように努力する。

ディスカッション

私。レポートを読むと反対する意見や質問などは有ったか。

ディマさん：夢と現実の関係だと、私の意見はちょっと違う。私も夢と現実には関係が有ると思うのですが、将来じゃなくて昔にやったことだけと夢の出来事は関係が有ると思う。現実に住んだいろいろな出来事の結果として夢を見ると思う。だけれどもこれは私たちが見る夢にいつも現実に起こった出来事と関係がある何か必ず起こると言う事ではない。多分有る大変疲れた人は現実と関係なくても夢に怖い何かを見るはずだ。どんな夢は覚えやすいという質問だと、私はもし夢が面白かったら覚えやすくなると思います。これは面白い映画を見るようなことです。私は夢と将来には関係があると思わない。サイダリさんはどうしてゆめとしょうらいはかんけいがあるとうの。

私：ディマさんは夢と将来の出来事は関係がないと思うね。私は有ると思う。これをできるだけ短く説明するようにがんばってみる。たぶん人々は意識と無意識を持っているのがわかるね。意識と無意識の別々の機能や可能はよくわからないと夢と将来の関係もわからない。だから最初にそのことについて。意識は毎日使っているのがわかりながら使っていることだ。無意識もいつも使っていますが普通は使っているのがわからない（感じられない）。意識は考えていることを何回も繰り返して私たちに発表する。例えば、意識を使って何かをやっているときそのことをやっているのが何回も分かる。無意識の場合にはそれを分からないでやる。だから無意識は意識より何回も早い。こうやって現実に起こることは私たちの意識とか無意識に行って処理される。実は外からはいる情報がいっぱいあって意識が忙しくなったとき情報は自動的に無意識に行きます。普通は人々が感じと思うことも無意識である。無意識に有る情報について頭脳（ずのう）は発表していないので、無意識に入った情報は基本的に感じのことになってしまう。だから感じは論理がないこととはいえない。無意識も意思と同じような処理される可能性があるので、いつか無意識にある情報は処理されてまた新しい情報が出てくるのに違いない。寝ているときは意識が消えているから無意識の処理された情報の結果が出るの一番便利な時間です。現実にいろいろな情報を考えて将来に何か起こるのが期待すると同じように、しかしこの場合には考えないで期待する事を夢に見えることである。今夢と将来についてどう思うか。また質問や反対する意見があるか。

インドレさん：サイダリさんの選んだテーマはとても面白かったと思う。それは私のトピックと似ている。私にとって、夢と現実の間にすごく深い関係があるにちがいない。夢には自分の一日中にあった出来事や考えが映るかもしれない。そして夢をおぼえるのは、人間の疲れさだけじゃなくて夢にもよる。もうひとつの影響を与えることが圧力(あつりょく)だと言われている。というわけで、難問がいっぱいある人間の夢は覚えにくくなるはずだ。私は占いについて書くつもりだ。夢占いは占いの一種類だから、多分自分はそれにちょっと興味を持っているかもしれない。自国では、年をとった人々は夢で見たことについていろいろな話を言っている。私のおばあさんからそんな話を何回もきいたことがある。例えば、もし夢で自分の歯を抜いてもらった事を見たら、夢占いによると、それはとても悪い意味を持っていると思われる。けっきょく、自分に本当に親しい人が死亡するかもしれない。サイダリさんの国ではどうですか？夢占いが人気があるの。自分は夢占いについてどんな意見を持っているの。

私：インドレさんが言ったことが私の国にもある。そしてゆめ占いの本もいろいろある。例えばもし夢に本、馬、太陽、明るい色などを見たら現実に関係あるいいことが起こる、もし暗い雲もやナイフやスネークなどを見たら現実に関係ある悪い事が起こると言う一般的な夢占いがたくさんある。でも私は夢占いは人によって別々に造ったほうがいいと思います。なぜなら本文に書いたとおりに夢は人々の無意識と関係がある訳で、あるひとの夢占いはそのひとの頭脳に現実の出来事はどうやって処理されたのによる。上に書いた基本的な夢占いはどうしてだいたいのひとの夢占いのため同じように使われているかという質問に、それは大体の人々の頭脳に同じように処理される現実の出来事もあるからだと答えられる。だけれどもそういう占いはいつも正しいとは言えない。

今お二人に聞きたい質問がある：夢に自分がわかったことがありますか。有ったら、どんな感じでしたか。

ディマさん：サイダリさんが言ったことが本などに書いてありますか、そんなことの実証が有りますか。もし言った事は本当だったら(もしみんなはそうだったら)夢と将来は関係があると思う。私は夢に自分が分かったことが有るかと言う質問ですと、はい、あります。だけどその時すぐ起きてしまった。だからそれはどう言う事がまだはっきり分からない。また質問があります：夢と現実について書きたいんですけど、どうして夢を覚えられることについて書きましたか。どんな関係が有りますか。例えば私にとって夢を見るのは面白いですが、でも夢を覚えることがほしくないです。

インドレさん：私は夢に自分が分かったことはないです。しかし面白い夢を見ているときおきてしまって、またその夢を見続けるようにがんばったことがある。

私：ディマさんの質問ですと、夢を覚えられないと夢と現実の将来の中で関係而建てられないと思う。だから夢を覚えられることが必要である。さらに、夢の内容がよかったら面白い映画を見たような感じがします。

次の質問です：夢占いはどれくらい本当だと思いますか。夢占いを言う人に信じますか。

ディマさん：私は夢占いにあまり信じられない。夢占いを言う意図はうそつきだと思います。

インドレさん：綿しいは今の夢占いは本当は少ししかないと思う。占いを言うことほんとにあることだけれども、それが皆出来ない。

私：先にも夢について今ほど深く考えた事が有りますか。

ディマさん：私は夢についてあんなに深く考えた事がないです。しかしそれについて深く考える必要はないと思います。実は深く考えたら夢中になって現実の本との問題をわすれてしまううかも知れないからそれはちょっと危ないだと思います。

インドレさん：私は今まで夢について深く考えたことはないです。初めて夢について考えたことは心理学クラスの時だった。その時フレードを勉強していました。だけど一回それについて深く考えてみたほうがいいと思います。

私：最後の質問なんですけど、夢と現実の出来事は関係が有った場合はたくさん有りましたか。

インドレさん：ひとつの大きいな例を言います。こうこうせいのおきわたしはほとんど知らない男の子がいました。最初に彼にあまり興味も持っていなかったし、好きでもはなかった。だけれどもある日夢に彼を見ました。一緒に散歩していた。その夢の後でほんとに彼が好きになってしまった。

ディマさん：色々な場合がありましたけど、普通は夢は将来と関係が有ったのがその出来事は現実起こった時分かります。つまり現実何か起こった時その事を夢に見たらしいと思う場合がたくさん有ります。

結論

これで三人の参加したディスカッションは終りである。ディスカッションのないようによればほんとうにおもしろかったことがわかるとおもう。それは参加者が質問し答えることだけでなく、自分の質もんや反対する意見などもたくさん聞いたりいったりしたためである。注意をはらって読んだ人はレポートのトピックについての意見が随分違う三人が参加した事がすぐ分かる。実は夢の事にほとんど信じられない人（ディマさん）や大体信じる人（インドレさん）やそれによく信じる人（私）がディスカッションしました。そのためディスカッションの時いろいろな面白い意見が出て来、皆は自分の意見や知識などを相手と交換しました。こうやって皆は自分が持っている意見と知識のある面で正しくないところがあれば、それを直すのにいいチャンスを得た。私の意見もある面で変わりました。たとえばディマさんの話から私は夢に付いて少し考えすぎたのが分かりました。

レポートを書くまも一つの方が分かりました。今の大体の人々は夢によく興味を持っていません。今の時代は情報時代で時間は一番大事なものののですけれども、人々が生活の唯物的なことだけでなくこういう事についても考えて見たほうが良いと思う。もしかしたら夢のことを調べる人この仕事で収入を得ないかもしれない。けどその人はその調べの結果として知識の新しい世界を見つけられると思う。

ディスカッションの終りにディマさんもインドレさんも夢に興味がちよっと増えた事が分かって嬉しかった。このレポートを読んだ後もしかしたら夢に興味がある人がもう少し増えるかもしれない。

私は夢の調べが非現実的（ひげんじつてきな）将来のないことではなくて、人間おいしき無意識関係などを調べるのに炊く三役にたつことだと思う。なぜなら夢と現実は無意識と意識の違いをはっきり見られるところからである。

でも夢のことを調べる時ひとつのいつも覚えなければならないとても大事なものが有る。それは現実と非現実（夢）の外枠を間違えないようにすることである。有名な哲人コンフツィは起きて： 私はさっき夢に蝶々だった人ですか、今夢に人になっている蝶々ですか といったことは無駄ではなかったと思う。

つまり、これらのぜんぶは人々の信条（しんじょう）や技量（ぎりょう）によることである。ただ世界に真珠によらないことがあると考えるのは正しくないと思う。なぜなら私たちは感じているや感じていないことも、知っているや知らないことも全部心中だけである。

目次

1. 動機
2. ディスカッション
3. 結論

動機

世界中どの国の人々も他の人々について考えるときは、いつも単純なステレオタイプを使います。人々が外国や別の民族について考える場合、一番簡単な方法がステレオタイプの考えを使う方法だからです。ステレオタイプはいつも複雑な事の簡単な一般化だから、ステレオタイプを使うことは時々面倒臭いです。つまり、ステレオタイプな考えは簡単過ぎるので、ステレオタイプを使っているのが誤解を引き起こすことができます。もちろん、時々ステレオタイプを使うのは面白くて滑稽です。例えば、喜劇役者はいつも冗談のためにステレオタイプを使います。しかし、普通はステレオタイプを使うことは危なくて、誤解の元になります。

このステレオタイプの逆説なので、私にとってステレオタイプとステレオタイプの使い方は本当に興味深いです。ステレオタイプは一般的な考え方ですが、この考え方は単純過ぎるから、ステレオタイプが正しくない考え方と思います。だから、私はこの逆説を調べたくて、なぜステレオタイプが悪いかを説明します。しかし、私はスコットランド人なので、スコットランドについてステレオタイプ特に興味があります。その上、私は現実とスコットランドのステレオタイプを比べられて、ステレオタイプについて特別な情報を見つけられます。それに、今は私はいろいろな国の人々に囲まれているから、いつもたくさんの面白いスコットランドについてステレオタイプを聞いています。だから、私はなぜステレオタイプが悪いかを説明するために、スコットランドについてステレオタイプを調べたいです。

私は外国人からたくさんの面白いスコットランドのステレオタイプを聞きました。私が「私はスコットランドから来ました」と言うと、皆驚きます。私はスコットランド人のステレオタイプのような人ではないために、びっくりしました。私にとって他の国の人々のスコットランドについてステレオタイプは変で非現実的です。例えば、ある人はスコットランドでみんなが羊の皮で作られた服を着ていると思っています。それに、他のステレオタイプがたくさんあります。例えば、たくさんの人々はスコットランド人がいつもウイスキーを飲んでいて、ハギスを食べていて、野蛮人のようにふるまっていると考えています。しかし、現実とは全く違います。このスコットランドについての誤解の理由はステレオタイプの簡単な考え方からです。ステレオタイプはいつも一般だから、ステレオタイプが現実を正確に表す事が出来ません。

人間が錯綜した問題について考えている時、ステレオタイプを使うのは非常に怠惰な考え方です。その上、人間が有る話題について知識を欠いていたら、ステレオタイプを使わされます。例えば人間は弱い立場にいと、ステレオタイプの簡単過ぎる考え方を使います。つまり、ステレオタイプはとても簡単だから、ステレオタイプを使うのは人々の無知を示す。

世界の全ての人々は個人なので、民族か人々の集団について概括を創作するのは無理だと感じます。これはステレオタイプの逆説だと思います。有る状態にステレオタイプを使うのは本当に面白いですが、他のもっと重要な状態を考えるのためにステレオタイプを使うことは面倒臭いと思います。だから、入念にステレオタイプを使わなければ成りません。さらに、集合的な事について考えていると、他のもっと深い考え方を使ったほうがいいです。概括を作るのは無意味だと信じます。

ディスカッション

総合の授業の間に色々な人とスコットランドとステレオタイプについての討議をしました。その討議では四つの主なテーマは論議しました。まず、私は討議の相手にスコットランドについてのステレオタイプを教えてくださいのように頼みました。第二に、私たちはそのステレオタイプの重要性と意味について話しました。第三に、討議の相手の国についてのステレオタイプを討議しました。最後、一般的なステレオタイプとステレオタイプの考え方について討議しました。以上、その四つのテーマについての討議を概説するつもりです。

1. 討議の相手が持っているスコットランドについてステレオタイプ：

私：あなたの持っているスコットランドのステレオタイプを私に教えてください。

驚いたことに、私が受けた返事は全く滑稽でした。以下は返事の例です。

ヨーナス(デンマーク人)：私にとって、スコットランドについて考えたら、野蛮人のイメージを見ます。スコットランド人は皆野蛮人のように生きていると思います。ハハハ - !! (笑っている)。

ジュ - リア(ドイツ人)：スコットランドは文明化されていない国だと思います。スコットランド人は全部険しい山に住んでいる未開の人々かもしれません。私のスコットランドのイメージは「ブレ - ブハート」と言う映画のようなイメージです。そういうステレオタイプがあります。

キム(韓国人)：私にとってスコットランドは本当に遠い国だけど、スコットランドについて考えたら、色々なイメージを想像します。例えば、私にとってスコットランドのイメージはショーウン・コネリーに肉体化されます。はい、それは僕の一番強いスコットランドのステレオタイプだと思います。

クレイグ(アメリカ人)：僕にはあまりスコットランドのステレオタイプというのが分かりません。でも、スコットランドの男性はキルトというスカートを履くのが好きですね。それに、ス

コットランドの一番有名な製品はウイスキーだから、スコットランドにはたくさんの酔っ払いがいると想像します。それで、僕は友達からスコットランド人が色々なまずい食べ物を食べると聞きました。

質問一の分析： 私にとって、討議の相手のスコットランドについてステレオタイプは面白くておかしかったです。そのステレオタイプとスコットランドの現実を比べると、全く違うのです。もちろん、スコットランドには酔っ払いとスカート履いている数人がいます。しかし、そういう人は少数派です。だから、そのステレオタイプはスコットランドとスコットランド人を正確に定義しないと言えます。

2．討議の相手を持っているスコットランドについてステレオタイプの重要性と意味：

私：あなたが持っているステレオタイプについてどう思いますか。例えば、スコットランドの現実とステレオタイプと比べると、違いがありますか。あなたが持っているステレオタイプはどんな重要性がありますか。

ヨーナス：もちろん、僕が持っているステレオタイプとスコットランドの現実とは全然違うと思いますけど、ステレオタイプの神話を信じるのは時々面白いです。普通にステレオタイプの使い方は面白いと思います。だから、滑稽な情勢に僕が持っているステレオタイプはたくさんの意味があるけど、大切な問題(例えば、国際的な政治的な問題)を解くためにステレオタイプを使うのは無意味だと思います。つまり、ステレオタイプの重要性に限られたと信じます。有る事態にもっと深い考え方のほうがステレオタイプより使うことはいいです。

ジュリア：通例、有る国のステレオタイプと現実には関係がありません。ステレオタイプはいつも国の民間伝承から想像されるから、ステレオタイプの焦点は国の悪い事です。だから、私が持っているスコットランドのステレオタイプは的確だとは思いません。ステレオタイプはぜんぜんの確な現実の描写じゃありません。でも、ステレオタイプの考え方が使いやすいから、人々はいつも毎日の生活にステレオタイプを使います。けど、最終的に、ステレオタイプの考え方は簡単すぎるから、ステレオタイプの重要性は小さくて、無意味な考え方だと思います。

キム：僕はあまりスコットランドの現実をしらないから、現実とステレオタイプを比べるのは難しいと思います。でも、僕にとって僕が持っているステレオタイプはイメージだけです。ステレオタイプは感銘深い考え方じゃなくて、ただ個人に想像させるイメージです。ステレオタイプは個人的なことだから、僕にとってステレオタイプは大切な事です。でも、個人のステレオタイプと現実とは違うかもしれません。

3．討議の相手の国についてのステレオタイプ：

私：自分の国のステレオタイプを私に伝えてください。自分の国のステレオタイプについてどう思いますか。

ヨナス：デンマークのステレオタイプはあまり多くないと思います。でも、デンマークのペーコンは有名なので、外国人はいつもデンマークにたくさんの豚がいると思っています。僕にとって、自分の国のステレオタイプについて聞くのは本当に面白いです。僕はデンマーク人だから、デンマークの現実とステレオタイプが区別できます。だから、自分の国のステレオタイプについて聞くのは問題ではありません。

クレイグ：アメリカのステレオタイプはいつも消極的なイメージを描写します。例えば、アメリカ人の普通のステレオタイプは太くて、ばかな人です。もちろん、アメリカには太くてばかな人もいますが、アメリカ人全員がそのステレオタイプのような人じゃないと思います。アメリカのステレオタイプと現実を比べるとたくさんの違いがあります。二億人について概括を作るのは無理だと思います。だから、ステレオタイプの考え方に反対です。

4．一般のステレオタイプとステレオタイプの考え方について：

私：一般にステレオタイプとステレオタイプの考え方についてどう思いますか。ステレオタイプは良い事ですか、それとも悪いことですか。

ジュリア：私にとってステレオタイプは多義的な事です。ステレオタイプを使うのは時々悪くて、時々いいから、ステレオタイプは使いにくい概念だと思います。ステレオタイプを正しく使うのは難しいです。現実とステレオタイプが区別できれば、ステレオタイプを使うのは無難です。でも、無知でステレオタイプを使うのは本当に悪いと思います。最終的に、ステレオタイプの基本的な考え方が簡略すぎるから、ステレオタイプを使わないほうが良いと思います。毎日生活にもっと深い考え方を使うのは必要です。

クレイグ：僕の意見はステレオタイプと言う事が面倒臭いです。複雑な多次元の事について、概括を作るのは無理だと思います。文化と民族は錯綜した事だから、そういう事について考えると、ステレオタイプを使うのは不十分な考え方です。ステレオタイプを使うのは怠惰で表面の考え方から、いつももっと深い考え方で考えたほうが良いと思います。現在は、世界の事態はもっともっと複雑になっているから、心の広い考え方を使うのは必要です。

結論

要するに、ステレオタイプという事は最終的に逆説的な事だと信じます。ステレオタイプの考え方は多義的です。ステレオタイプの考え方は浅過ぎるのに、毎日生活に、人々は必ずステレオタイプを使います。普通の事態に問題の深い分析をするために、人々はいつもステレオタイプの考え方を使います。しかし、ステレオタイプで考えると、正確に問題を解く事が出来ません。それはステレオタイプのパラドックスだと思います。一方では、時々ステレオタイプを使うのは本当に面白いです。例えば、ステレオタイプと現実の違いは明白だったら、冗談のためにステレオタイプを使うことは面白いです。しかし、他方では、有る事態にステレオタイプの考え方は浅過ぎるです。例えば、複雑な問題を解くために、もっと深い考え方をを使うのは必要だと思います。毎日生活を分析するために、ステレオタイプは狭すぎるのです。終わりにステレオタイプは文化に想像された無意味な考え方は。各々の違う事態に個人的な考え方で考えたほうが良いです。

終わりに

総合のおかげで私の日本語がだんだん進歩したと思います。それで、総合の授業の間に色々な面白い意見をもらう事が出来ました。その上、日本語を習うためにレポートを書く事は本当に有用だと思いました。しかし、私にとって、総合はいろいろな消極的な点もあります。例えば、先生が全然私たちの日本語を直しませんでした。しかし、学生は間違ったら、先生からの手伝いは必要だと思います。私は日本語を勉強する決意を固めたから、今日本にいます。でも、時々手伝いがいから、私の刺激を失います。とにかく、ディスカッションと意見をどうもありがとうございます。

パソコン、インターネットと私

ホロセンコ・ユリヤ
グループ - 超人組み

目次

- 1．動機
- 2．ディスカッション
- 3．結論

動機

最近、テレビ、雑誌、新聞などで、パソコンをテーマにした記事や番組がよく見られる。特に、新聞ではパソコン関係の記事がのらない日はないほどだ。それだけパソコンと言うものが一般的になったということだろうか。

初めて、十二歳のころ、私の初めてのパソコンを贈ってくれた。実は、パソコンではなくて、SEGA というプレステーションだった。4年が経って、本当のパソコンを買ってくれた。その時は、勉強するように、ゲームをやるように使ってた。インターネットを使う可能性が起こったときインターネットにアクセスするようにパソコンを使い始めた。だけど、私にとって、パソコンを使うことは時間を楽しく過ごすという意味があった。

今、全部は変わってくる。日本へ来てからパソコンを使うと言うことは外の意味を帯びてきた。今の私にとって、パソコンを使うのは一番必要なことになってくる。パソコンを通じて、ロシアと私が住んでいるウラジオストクに関するニュースを読むことができる。日本のテレビにはロシアに関するニュースがあまりないから、インターネットだけを通じてニュースを受けられる。それに、インターネットだけを通じて友達への e メールを送られ、友達の答えの e メールを受けられる。私はもう二が月近く東京に住んでいる。東京生活にはもう慣れてくると思う。だけど、今でも友達がなくて寂しくなり、孤独感をよく抱いていることもある。だからこのニュースと e メールは私の救いのようなことである。特に、e メールだ。毎日毎日 e メールをチ

チェックしにコンピュータ室へ行く。新しいeメールを受けなかったら、ただちに気持ちは悪くなる。

日本へ留学しに来た私は初めてパソコンの価値を評価できると思う。パソコンとインターネットは無限の可能性を与えらると思う。この可能性には、今の私にとって家や友達と連絡できるというのは一番重要な可能性だ。これなし、今の生活は寂しくて口先だけの(空しい)生活になると思う。

ディスカッション

私は自分のレポートのテーマに興味を持っていますから、他の人の意見を聞くことにしました。下述の質問を構成しました。私が行ったディスカッションでフランチェスカ(イタリアから来た女の人)と崔元柱(韓国から来た男の人)参加しました。

1. 留学の前にパソコンとインターネットをどういふふうに使っていましたか。

フランチェスカ：イタリアにいる時、文化とか歴史について研究するためにパソコンとインターネットをよく使っていました。その上に、田舎(ナポリ大学の学生だから、ナポリに住んでいる)と外国に住んでいる友達があるから、一週間ぐらいeメールを送りました。

崔元柱：色々な場合でパソコンとインターネットを使いました。例えば、レポートを書いた時、資料を搜した時、友達へeメールを送った時、その上に、友達とMSNでおしゃべりをした時という場合でパソコンとインターネットを使いました。

2. 日本で留学するあなたは家族と友達のことについて寂しく思っていますか。

フランチェスカ：はい、私の国は遠いから、家族と友達のことについて寂しく思っている。それから、毎日毎日、彼らと電話で話したいです。実際には、彼らの声を聞くと、彼らの気持ちを分かります。

崔元柱：ときどき会いたいから、寂しい時間と寂しく思っている時間もあります。

3 . 今は、パソコンとインターネットを使うことはあなたにとって外の意味を帯びてきますか。

フランチェスカ : 留学生について言うなら、初めに毎日毎日 e メールをチェックして、答えるには、長い時間を過ごしました。しかし、今は e メールに飽きました。実際には、出来事について語りたければ、パソコンを使うのは大丈夫ですが、私の毎日の気持ちと日本の生活についての印象を説明するには、電話をかけるのほうがいいと思います。

崔元柱 : 韓国ですずっとパソコンとインターネットを使っていたから、必需品になった。だから、今は自由に使うことができないから、不便です。大学だけ使えるからです。電話の費用が高いから、e メールは便利です。特に、友達と連絡するためには、本当に便利です。

4 . 一週間に何回ぐらい使っていますか。

フランチェスカ : 今、一週間には3回ぐらいパソコンを使っています。

崔元柱 : できたら、毎日使うようにします。しかし、週末にあまり使っていません。大学へ来ませんから。

5 . どうしてそんなによく(まれに)使っていますか。

フランチェスカ : 先に行った通に、家族と親しい友達とは電話でよく連絡しているから、他の人のために一週間には3回は足りると思います。それに、いま日本で会った友達と時間を過ごしたいです。

崔元柱 : e メールをチェックしたいです。友達からの e メールとか重要な内容の e メールが来ているかもしれませんから。

結論

今の私にとって、パソコンとインターネットを使うことは今の生活に不可欠なことです。留学の前に、私は大体時間を楽しく過ごすためと勉強するためにパソコンとインターネットを使いました。ディスカッションで参加したフランチェスカも崔元柱も同じの理由でパソコンとインターネットを使ったそうです。だが、今は、彼らのためにパソコンとインターネットを使うということはもっと重要になりそうです。不可欠なことになるかもしれませんが、恐らくとても便利で必要になると思います。

ディスカッションした後、私の考え方を変わりませんでした。しかし、フランチェスカの意見に賛成しないではられません。eメールを送るより電話をかけるほうがいいと思います。相手の声を聞きながら相手の気持ちと感じが分かりやすいからです。それに、実際の声を書くときは自分の気持ちはよくなって、という理由で起こった疑問とか悪い考えは晴れますから。私もよく電話をかけるようにしますが、ロシアへ電話する費用は高いです。毎日電話をかけることができません。

フランチェスカと崔元柱の意見以外、外の意見があるそうです。ディスカッションで参加しなかったある人は面白い意見を述べてくれました。手製の手紙はeメールよりもっとも楽しいそうです。この人にとっては、手製の手紙は送る人が自分の心をこめてこの手紙を自分で書くという意味があるそうです。私はこの意見も賛成しています。しかし、例えば、私が日本からロシアへ普通の手紙を出したければ、この手紙の道はウラジオストクまで大体一ヶ月ぐらいかかると思います。こういう経験があった私はこれを受諾できません。極めて長い時間がかかりますから。

だから、私にとって、パソコンとインターネットを使うことはニュースとeメールを受けるために、一番早くて安くて便利だという結論に達しました。これに賛成する人も反対する人もいます。十人十色。